

令和6年8月28日

美深町議会議長 南 和 博 様

総務住民常任委員会委員長 小 口 英 治

所管事務調査報告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

調査日

令和6年8月9日

調査事項

地域おこし協力隊の実績と課題について

調査内容

- (1) 現状の配置状況（担当の業務内容）
- (2) 当町の募集方法
- (3) 定住に向けての課題等

調査方法

聞き取り

調査の内容

- (1) 現状の配置状況（担当の業務内容）

本町では地域おこし協力隊の制度を平成24年度から導入し、これまで18人が活動している。

現在、活動している地域おこし協力隊は2名である。（業務内容は図1参照）。

令和5年度からは、期間が2週間から3か月以内のインターンとしての受入も実施している。これは、実際の地域おこし協力隊員と同様の活動に従事し、着任後のイメージを持ってもらい、本隊の着任に繋げる取り組みある。

今年度は4名が着任する予定で、2名のインターンは既に任期を終えているが、成果としては、松山湿原のデジタルガイドマップ、観光PR動画の制作、びふかアイラン

ド内の英語表記の作成等が挙げられる。

また、地域おこし協力隊員の業務内容は多岐に渡るが、任務中に起きた悩みや疑問について相談できる体制としており、町の担当職員と相談・議論を重ねながら任務を行っている。

地域おこし協力隊員は、会計年度任用職員であるが、地域おこし協力隊とインターンとも時間外手当の契約は結んでおらず、勤務時間を超過した場合は、別日に勤務時間を短縮して、対応している。

図1 地域おこし協力隊員 (令和6年8月9日現在)

氏 名	前住所	任 務	任 期
ありきか せいじ 有坂 征志	東京都国分寺市	チョウザメ事業の推進	令和4年6月1日～ 任期中
さくま ち絵 佐久間 千絵	北海道旭川市	びふかアイランド活性化	令和6年4月1日～ 任期中

(2) 当町の募集方法

地域おこし協力隊の募集方法は、町のホームページでの募集とポータルサイト（図2参照）の掲載を行っているが、町民や美深町に縁のある方からの紹介などの割合も多い。

多くの自治体が活用しているポータルサイトでは、美深町が目にとまる可能性が低いため、今後の募集方法については、検討する必要がある。

隊員の任務内容については、事前に面談を行い、希望に沿った任務内容となるように配慮している。

図2 ポータルサイト (令和6年8月現在)

ポータルサイト名	掲載内容
JOIN	地域おこし協力隊募集情報や協力隊に関するイベント情報を掲載
SMOUT	地域おこし協力隊募集情報を掲載、ユーザーへメッセージの送付・スカウトができる機能有
北海道地域おこし協力隊ポータルサイト	道内各地の地域おこし協力隊募集情報や地域紹介、協力隊員向けの研修やイベント情報を掲載
移住交流推進協議会	募集情報掲載
北海道メルマガ	募集情報掲載

（３）定住に向けての課題等

美深町の定住者・定着者は８名。定住率は全国平均と同程度である。退任後もビジネス・イベントへの関係人口として関わり続ける可能性もあるため、定住率・定着率だけが成果とは言えない。

任期終了後に定住に結びつかない要因の一つに、就職先の確保の課題があり、任期終了後の就業や起業につながるよう配属先を工夫する必要がある。

また副業についても柔軟に認めるなどの配慮も必要と考えられる。

おためし協力隊については、現状受け入れは行っていない。

調査のまとめ

地域おこし協力隊は、町と協力隊員の双方が目指すものを達成できるよう任務内容を今以上掘り起こし具体的にすることが必要である。

任期終了後も同じ地域に定住の希望があれば、起業に必要な準備のほか、起業する分野のスキルアップや人脈作りも大切な要素である。

町が提案する事業を地域おこし協力隊に委託して委ねる方法もあるが、報酬額の算定が難しい面もあるとの説明も受けた。

当町の現役隊員は２名だが、同じ上川管内の東川町７５名、美瑛町・下川町１５名となっている。

当制度は地元には気づかない環境・経験・情報等を知ることができ、町づくりへの重要な視点も享受可能なので、各地の成功事例を参考にさらなる研究を望む。

併せて募集の方法についても、町の提示する任務内容以外での、フリーミッション型の研究も望まれる。